

議会だより

No151

平成29年
4月30日発行

群馬県邑楽町議会 URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai> E-mail gikai@swan.town.ora.gunma.jp



双子の姉妹/Photo齋藤枝里

写真募集

邑楽町議会では、議会だよりの表紙に掲載する写真を募集しています。
邑楽町に在住・在勤であればどなたでも応募できます。
詳しくはホームページをご覧ください。皆さまの応募をお待ちしています。

平成29年 3月定例会

平成29年度予算可決(一般会計・各特別会計)

| | |
|-------------|-------|
| ■ 可決された議案 | 3~4 |
| ■ 予算質疑 | 5 |
| ■ 一般質問 | 6~12 |
| ■ わたしのふるさと等 | 13~14 |

一般質問 7人の議員が町の考えを問う

- ・大賀孝訓議員
- ・神谷長平議員
- ・松島茂喜議員
- ・瀬山 登議員
- ・小島幸典議員
- ・松村 潤議員
- ・塩井早苗議員

動画による録画映像配信中

ホームページからアクセスできますので
ご覧ください

平成29年度一般会計予算

82億9,500万円の予算を可決 対前年度比5.1%減

平成29年度の予算規模は、一般会計で82億9,500万円、前年度に比べ4億4,800万円、5.1%の減額といたしました。

歳入での町税収入見込額は、町民税、町たばこ税の減収が見込まれる一方、固定資産税や軽自動車税等の増収が見込まれることから、前年度比142.4万円増の34億6,800万6,000円としました。

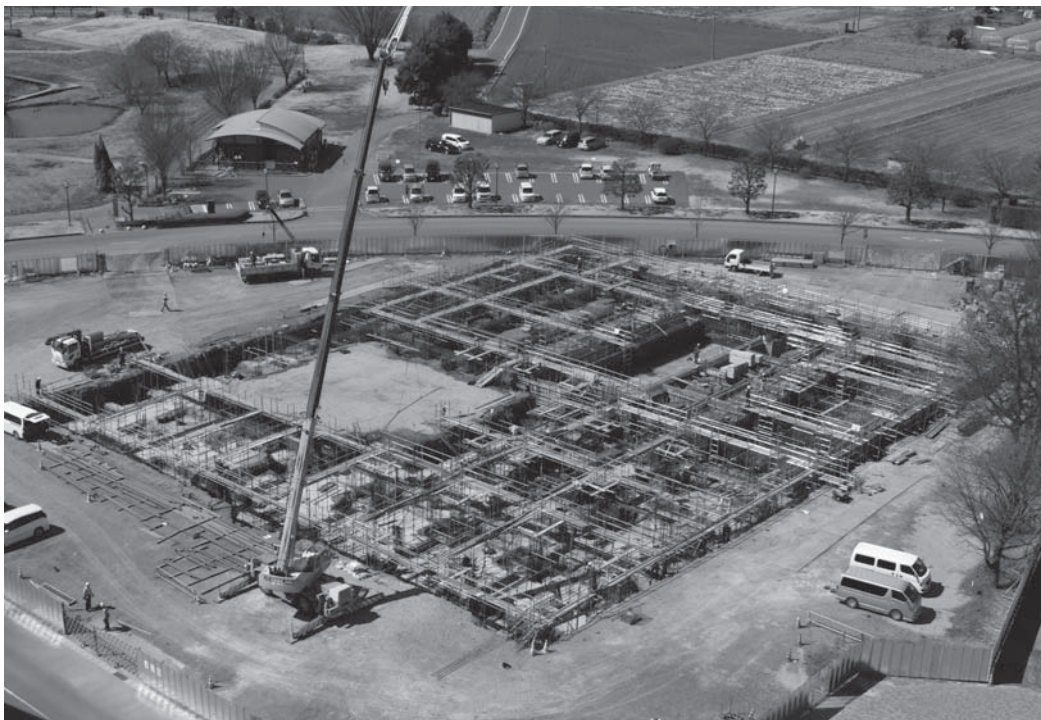
地方交付税は、前年度を下回る9億2,181万7,000円を見込みました。繰入金については、財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金及び社会教育施設建設基金等から合わせて6億6,980万円計上しました。前

年度比2億6,620万円の減です。町税、分担金及び負担金が増加していますが、国庫支出金及び県支出金等が大きく減少する中で、財源確保の観点から、前年度に引き続き財政調整基金繰入金を計上しました。

町債は、今後の財政負担を考慮して7億5,040万円（3.6%減）ですが、その内の5割以上は、臨時財政対策債が占めています。

歳出の大きなものとして、後期高齢者対策事業に1億8,538万1,000円、介護給付・訓練等給付事業に2億4,148万1,000円、子ども子育て支援事業に3,872万8,000円、一般廃棄物処理一部事務組合負

平成29年第一回定例会が、3月7日から17日まで開かれました。平成29年度の一般会計予算や各特別会計予算等の議案が提出され、審議の結果原案のとおり可決されました。



建設工事が始まった中央公民館

担金に2億6728万7000円、浄化槽整備事業に2978万7000円、小規模農村整備事業に3595万円、野菜振興対策事業に636万5000円、町道整備国庫補助事業に1億8000万1000円、鶉土地区画整理事業に1億1509万5000円、消防施設事業に2374万5000円、災害対策事業に1509万8000円、小中学校及び幼稚園の臨時補助教員等配置事業に1億585万1000円、中央公民館建設事業に8億2707万1000円計上しました。

公債費では、長期債元金に7億1761万3000円、長期債利子に5276万円計上しました。景気動向は民需を中心に徐々に回復の動きが広がっていますが、まだまだ景気回復を実感することは難

しい状況であります。国は人口の増加若しくは維持を諦め、希望出生率を1・8としています。さらに国の国債依存度は限界を超えたといわれている状況において、地方への財政措置がこれまでのように確保される保証はないといわざるを得ません。

今後とも人口減少に歯止めを掛けるとともに、少子高齢化社会を乗り切るために行政サービスの取捨選択を図る論議を進めて行かなければならないことも事実であると考えるなければなりません。

予算の執行に当たり、事務事業の見直しや合理化をより一層推進するとともに、事務執行に当たる職員の資質の向上を図ってまいります。そして、町民の皆さまと共に、大いに意見交換を行いながら、新たな時代に即応した行政のあり方を模索し

つつ、行政の執行に当たってまいる所存であります。

町民の皆さまと議員各位の一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

(町長の施政方針抜粋)

可決された議案

〔条例の改正〕

邑楽町個人情報保護条例の改正

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の改正に伴い、条例を改正しました。

◆ **職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正**

邑楽町職員の育児休業等に関する条例の改正

「地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児

又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の改正に伴い、条例を改正しました。

◆ **邑楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の改正**

4月1日から1年間、町長15%、副町長・教育長10%、それぞれ給料が減額となりました。

◆ **邑楽町税条例等の改正**

法人町民税における法人税割の税率引き下げや住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長、軽自動車税における環境性能割の導入やグリーン化特例の期限を延長することなどから条例を改正しました。

◆ **邑楽町スポーツ・レクリエーション広場の設置及び管理等に関する条例の改正**

人工芝生整備工事が完了したことに伴い、施設使用料を改定しました。

◆ **邑楽町指定地域密着型サービス**

の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び邑楽町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の改正

「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の一部施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令」の施行に伴い、条例を改正しました。

◆ **邑楽町都市公園条例の改正**

都市公園内における使用料の徴収方法を変更しました。

邑楽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の改正

待機児童の解消を図るため、南保育園で実施している「一時預かり事業」を廃止することから条例を改正しました。

正 邑楽町介護保険条例の改正

低所得者への保険料率の軽減を平成29年度も適用することや平成30年4月1日から予定していた「介護・医療の連携推進事業」、「認知症総合支援事業」を平成29年4月1日から行うことから条例を改正しました。

邑楽町小口資金融資促進条例の改正

群馬県小口資金融資促進制度要綱の一部改正に伴い、条例を改正しました。

平成28年度補正予算額

| 会計別 | 予算現額 | 補正額 | 予算総額 |
|-------------|------------|----------|------------|
| 一般会計 | 92億2,559万円 | 3,978万円 | 92億6,537万円 |
| 国民健康保険特別会計 | 37億8,626万円 | 394万円 | 37億9,020万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 2億2,694万円 | 1,345万円 | 2億4,039万円 |
| 介護保険特別会計 | 19億5,450万円 | 0万円 | 19億5,450万円 |
| 下水道事業特別会計 | 2億7,682万円 | △2,329万円 | 2億5,353万円 |
| 学校給食事業特別会計 | 2億4,828万円 | △866万円 | 2億3,962万円 |

平成29年度当初予算額

| 会計別 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 対前年増減率 |
|-------------|------------|------------|--------|
| 一般会計 | 82億9,500万円 | 87億4,300万円 | 5.1%減 |
| 国民健康保険特別会計 | 36億0,929万円 | 35億8,355万円 | 0.7%増 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 2億3,444万円 | 2億2,495万円 | 4.2%増 |
| 介護保険特別会計 | 19億3,454万円 | 18億8,912万円 | 2.4%増 |
| 下水道事業特別会計 | 2億4,501万円 | 2億8,223万円 | 13.2%減 |
| 学校給食事業特別会計 | 2億4,098万円 | 2億4,635万円 | 2.2%減 |

議会に請願したいとき

請願は、町民の皆さんの要望を反映させる一つです。

議会へ請願するとき

請願者の住所・氏名（法人はその名称・代表者名）及び請願の趣旨を記載し、押印した文書を議長あてに提出してください。この場合、その趣旨に賛意を表す議員の署名または記名押印を受けてください。

議会では

所定の様式と内容を整理し、関係委員会に付託して、請願内容が妥当かどうか審査を行い、本会議において、採択、不採択を決定します。

請願様式例

〇〇〇〇に関する請願書
紹介議員〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇に関する請願書
(要旨)

平成 年 月 日
住所 〇〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇〇
邑楽町議会議長 様



新年度予算質疑(要旨)

新年度予算についての質疑が行われました。以下は、抽出した項目の要旨です。

Q 松島茂喜議員 町立集会所は、災害時の避難所となっているが、公共施設のなかで唯一耐震化がされていない。今後の対応は。

A 町長 2次耐震診断の指摘を受けているので、その結果を踏まえて考えていく。

Q 原 義裕議員 新商品研究開発支援事業に助成金50万円が計上されているが、5年間実績がなく効果もないのになぜ計上するのか。

A 町長 当初は利用者がいた。使い道に要綱があるので研究していく。

Q 瀬山 登議員 邑楽館林医療事務組合の負担金が増額されているが、未だに産婦人科の診療がされていない。

A 町長 医師の確保がきびしい状況にある。医師が意欲を持って働ける環境づくりが必要で、給与等を増額している。

Q 松村 潤議員 学用品等入学前に購入できるように要保護・準要保護家庭の就学援助費を前倒しで支給できないか。

A 教育長 所得が確定してからということや国の制度上のこともあり4月以降になってしまう。

Q 大野貞夫議員 国民健康保険は、平成30年度から運営主体が町から県に移行するため、保険料の大幅な引き上げが心配されるが。

A 町長 医療費の削減を図ることが大切。町として、今後も積極的に予防活動を進めていく。



町政を問う

一般質問

一般質問は、3月8日及び9日に行われました。質問には、7人の議員が登場し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

◆ **大賀孝訓** 議員
子育て支援について

6ページ

◆ **神谷長平** 議員
今後の公共施設等の管理運営について

7ページ

◆ **松島茂喜** 議員
学校給食について

8ページ

◆ **瀬山 登** 議員
鶉土地区画整理事業について

9ページ

◆ **小島幸典** 議員
町の観光事業開発と地産地消発展を

10ページ

◆ **松村 潤** 議員
学校のトイレ整備について

11ページ

◆ **塩井早苗** 議員
高齢者虐待の予防について

12ページ



大賀 孝訓
議員

子育て支援について

問 待機児童の解消についてマスクミ等が賑わっているが、本町における待機児童の推移、4月以降の待機児童の見込み数はどうなっているのか。

答 **子ども支援課長** 平成29年度においては、町立保育園3園に待機児童はいない。平成28年度は2歳児の申し込みが多く待機児童が生じた。平成29年度は1歳児が28人と大幅に増えた。今後はどうのように推移していくのか見通しがつかない、難しい状況である。

ようだが、子どもの数が減っているので施設を維持するために認定こども園に移行している。認定こども園のメリット、デメリットは。

答 **子ども支援課長** メリットは、異年齢間の交流、一貫性のある幼児教育、親の働き方等状況が変わっても退園しないで済む。幼・保の需給バランスの崩れが解消できる。デメリットは幼・保の家庭環境の違い、PTA等保護者の違い、幼保職員の勤務内容の調整、園の風土づくり等がある。

問 課題への克服策、解決策はあるのか。

答 群馬県内で見ると認定こども園は中山間部で移行が行われている

答 **子ども支援課長** 幼児教育の指導員を配置し、教育的機能等の研修、職員の意識改革も進めている。

問 指導者側の意識改革を進めているということだが、意識改革は職種によっては非情に難しいが大丈夫か。

答 **子ども支援課長** 幼保職員それぞれの勤務経験の違い、意識にかなりの違いがある。園長・副園長研修、保育士と教諭の連携研究会等行っているが、解消するにはかなり難しい状況がある。

問 平成29年度の高島幼稚園への入園希望者

答 **子ども支援課長** 現在は、幼稚園より保育園の希望者が増えるのではないかと認定こども園にしてしまうと元に戻すのは難しい。今後の課題として、高島幼稚園は中野幼稚園に統合して、空いたスペースを北保育園として定員増を図れば今後の保育需要に見合うのではないかと。

問 今後は、幼稚園より保育園の希望者が増えるのではないかと認定こども園にしてしまうと元に戻すのは難しい。今後の課題として、高島幼稚園は中野幼稚園に統合して、空いたスペースを北保育園として定員増を

答 **教育長** そういう計画は現在持ち合わせていない。

問 第4次行政改革大綱によると、公共施設の適正な管理、地域の活性化、課題解決、生活環境の改善があり統合も一つの選択肢であると思う。今後の幼稚園の縮小化を鑑み、1年間かけて認定こども園の軌道修正することも選択肢の一つでは

答 **町長** 平成30年から認定こども園への移行を計画している。保育園については、保育時間を午前7時30分から午後6時30分まで行っているが、希望者が多くなってくると思う。運営状況を見極めたうえで考えていくことが大切である。

問 画は現在持ち合わせていない。

答 **町長** 平成30年から認定こども園への移行を計画している。保育園については、保育時間を午前7時30分から午後6時30分まで行っているが、希望者が多くなってくると思う。運営状況を見極めたうえで考えていくことが大切である。

問 第4次行政改革大綱によると、公共施設の適正な管理、地域の活性化、課題解決、生活環境の改善があり統合も一つの選択肢であると思う。今後の幼稚園の縮小化を鑑み、1年間かけて認定こども園の軌道修正することも

答 **町長** 平成30年から認定こども園への移行を計画している。保育園については、保育時間を午前7時30分から午後6時30分まで行っているが、希望者が多くなってくると思う。運営状況を見極めたうえで考えていくことが大切である。

問 画は現在持ち合わせていない。

ないか。

認定こども園への移行を計画

答 **町長** 平成30年から認定こども園への移行を計画している。保育園については、保育時間を午前7時30分から午後6時30分まで行っているが、希望者が多くなってくると思う。運営状況を見極めたうえで考えていくことが大切である。

問 画は現在持ち合わせていない。

答 **町長** 平成30年から認定こども園への移行を計画している。保育園については、保育時間を午前7時30分から午後6時30分まで行っているが、希望者が多くなってくると思う。運営状況を見極めたうえで考えていくことが大切である。



認定こども園へ移行予定の北保育園

一般質問



神谷 長平
議員

今後の公共施設等の 管理運営について

問 邑楽町公民館について、2月9日に中央

公民館建設特別委員会が開催された。その中で副町長は、社会福祉協議会が邑楽町公民館の一部を利用する場合には、改修費用がどのくらい必要になるか見積もった中で検討したいとの回答であったが、その結果を確認したい。

答 副町長 社会福祉協議会と協議を重ねた結果、移転は可能との報告に基づき、社会福祉協議会の要望を踏まえて見積もった。結果、施設の改修経費に約4500万円。社会福祉協議会の活動拠点の分散に伴い連絡用車両や事務機器等の配

置で初年度約900万円。その他維持管理経費や職員人件費等が年間約440万円となる。初年度は合計約5840万円あまりが必要になる。また、維持管理経費として440万円が毎年必要になる。

問 説明によると大変お金がかかる。将来的には財政運営が厳しい状況になる。また、総合計画や都市計画マスタープランでは、社会福祉協議会の事務所のある地域は保健福祉ゾーンに位置づけられ、町も整備をしてきた。また、第六次総合計画では、社会福祉協議会の事務局体制の充実・健全な財政運営・邑楽町

今後十分意見を 聞きながら判断

地域福祉活動計画などを目標に掲げている。その中で、果たして母体である事務所と作業所が別の場所が良い結果が得られるのか一番懸念されるが、

答 町長 都市計画マスタープランでは、この地域を福祉ゾーンとして利用することになっている。社会福祉協議会の事務所は大変手狭になっている。中央公民館建設によって、社会教育施設としての用途を廃止することを鑑みて、社会福祉協議会の事務所として利用が可能か社会福祉協議会と協議を

してきた。いろいろな課題もあるので、今後は十分意見を聞いて判断していきたい。

問 中央公民館建設基本構想、基本計画案に

ついては、平成26年4月に説明を受けた資料では、邑楽町公民館と長柄公民館、ヤングプラザの社会教育3施設の機能を統合して、町内さまざまな学習の場を結ぶネットワークの拠点として中央公民館を建設することで予算が可決された。建設工事も順調に進んでいる。建物が完成する前に邑楽町公民館の利用のあり方は、廃止の考えか。または、用途変更して利用する考えなのか。

答 町長 費用・維持費も大変かかり、福祉ゾーンから離れるという大きな問題もある。邑楽町公民館を今後どのような形で利用するのか議員



現在の邑楽町公民館

に説明して考えていきたい。



松島 茂喜
議員

学校給食について

問 給食センターに炊飯設備がない。災害時の点からも必要ではないかと議論してきたが、その予定がないということなので調査したところ、現在の設備で炊飯が可能かどうかという状況が出てきた。実際のところ可能か否か。

答 学校教育課長 回転釜で炊けると聞いている。

問 常時給食として機能するのか、災害時に対応できるか調査したのか。

答 学校教育課長 回転釜が9台あるが、一般的には4台が空いている。月に7回くらいは、全部使うことがあるので、

釜の空き状態によっては、現状では難しい。災害専用ということであれば、可能性がある。

問 献立の工夫によって釜の使用を空けることは可能だと思う。災害時に使用するには、非常用電源の設備が必要だが、町長の考えは。

答 町長 十分にその機能が果せるよう考え、検討する。

問 食材を納入する業者の選定方法は。

答 学校教育課長 給食センター運営委員会、物資購入部会で審査し、決定している。

問 その物資購入部会の構成員は。

答 学校教育課長 学校長代表とPTA代表の2名である。

問 2名で業者を選定しているのは驚きであるが、入札審査会の会長である副町長の見解は。

答 副町長 ある程度の金額の食材を購入するには、選定する人数が2名では厳しいのではないかと思う。

問 炊飯業者とは、どのような契約を結んだのか。

答 学校教育課長 学校給食会から委託を受けていた業者に時間の短

縮ができるか打診をし、随意契約をした。

問 特命随契（1者随契）ということだが、他の業者から見積もりはとらなかったのか。

答 学校教育課長 近隣自治体に納入している業者に問い合わせをした。

問 業者からどのような回答を得たのか。

答 学校教育課長 1者からは数の問題で対応が難しい。もう1者からは、対応できるとの回答を得た。

問 財務規則では、2者以上から見積もりを徴することになっているが、副町長の見解は。

答 副町長 経験、知識を特に必要とし、現場に精通した者に該当しているとして、特命随契を結んだ。

問 埼玉県和光市の「随契ガイドライン」などでは、「業務等に精通している。納入実績があるというだけでは、随契の理由とはならない」としている。当町にはないのか。

答 副町長 ガイドラインの定めはない。

問 改善策まで示したが、町長の考えは。

担当に十分精査させる

答 町長 財務規則等の担当に十分精査させ、報告したい。

その他の一般質問
・平成29年度施政方針について



炊飯可能が明らかな回転釜

一般質問



瀬山 登
議員

鶉土地区画 整理事業について

問 平成10年9月に着手し、過去5回、事業計画が変更された。現在の実施計画では、面積39・7ヘクタール、総事業費68億5000万円、事業期間は32年で平成43年3月31日完成予定となっている。平成28年3月31日までの事業費は20億5000万円、事業完成比率が30・3%で、仮換地指定76・9%である。残りの14年間、この事業が計画どおり執行できるか危惧している。計画に沿った財源確保は。

答 **町長** 18年間の進捗率は約30%の状況である。時々の財政状況もあるが、平成42年度の完成計画であり、今後の予

算配分を十分考え、努力していきたい。

問 今年の4月、現地事務所の職員3人を役場本庁舎に引き上げる予定と聞いている。事務費の浮いた分を事業予算に反映するのかと思つたら、前年度比33・5%の減額となっている。その理由は。

答 **町長** 6300万円の移転が複数件あり、移転補償が多くなるため、当初予算から削った。今後は十分精査し、予算計上していく。

問 鶉中央線の道路建設は、平成25年度に一

部が完成した。区間が156メートル、幅員3メートルの歩道が両側につき、車道7メートルの安全性に優れた快適な道路に変貌を見せた。しかし、手つかずの所は何年も虫食いの状態のため、地域住民は不便で危険な生活を長期間強いられている。早急に進めていく必要があるが、一部の道路予定地の仮換地指定が済んでいない。鶉中央線道路の進捗状況は。

答 **町長** 移転が済んだところから実施している。今後も移転補償が完了し、用地が確保でき次第、道路整備を行っていく。

問 全線開通に向けての計画は。

答 **町長** 仮換地指定は県との協議もあり、最低3年以上かかる。仮換地の未指定地や移転等の状況を踏まえると、中央線道路が暫定的に完成するのは、平成35年以降になる。

問 事業を進めるには、財源の確保が必要である。鶉区画整理事業に平均3億5000万円の予算計上ができないか。

答 **町長** 国の交付金等もお願しているが、交付割合がここ数年大変低くなっている。区画整理の計画を立てて国にお願いしているが、家屋の移転等事業を推進させる要件を整え申請した結果が、交付率50%、あるいは60%と大変低い数字に

なっている。計画年が定められており、国への要望を強くお願いし、事業を進めていきたい。今後財源確保に努力していく。

*仮換地指定

土地の権利者に予定地の位置、地積などを通知すること

その他の一般質問
・邑楽町新規産業団地造成地について



完成が待たれる鶉中央線



小島 幸典
議員

町の観光事業開発と 地産地消費発展を

問

町には、昭和56年3月福祉センター寿荘近くで温泉掘削の歴史がある。町の観光事業の一つとして、多々良沼公園のガバ沼に飛来する白鳥

温泉掘削については、鉄分が多く、現在は使用していないため観光資源としては難しいのではと思っている。

は600メートルから1000メートル掘っている。高島地区の地下水は、冬でも温かい。町長の研究するということを期待するが。

問

昭和56年3月に温泉かいいお湯が出るのではないかとということで掘った経過がある。福祉センター寿荘を拠点にしながら、町の観光事業の一つとして、多々良沼公園と中野沼のマミズ

答

町長 議員のご意見を大変貴重なご意見と承り、今後十分多方面にわたって研究していきたい。

今後十分研究していく

的な利用はできないと思っている。研究することとはやぶさかでないが、現実に合った施設利用が望ましいと思う。

円かけても、1億円かけても、町には、財政調整基金があり、群馬県で一つしかない温泉掘削に挑戦する気があるのか。

答

町長 平成28年度に、マミズクラゲを含む中野沼の水生動植物の実態調査を行ったが、マミズクラゲの生息は確認できなかつた。今後も引き続き調査を続けていく。

問

鉄分が多くても、日本の温泉の歴史では西日本を代表する赤湯で有名な有馬温泉があり、豊臣秀吉や黒田勘兵衛も愛し、多くの観光客を魅了する全国でも珍しい赤湯という名で親しまれている。赤湯の成分はメタケイ酸という泉質で、保湿効果や美白効果が高く、天然保湿の湯というキャッチコピーで宣伝している。町は250メートルしか掘っていない。温泉を出しているところ

答

町長 寿荘は昭和56年に開所し、その目的が高齢者の健康の増進、教養の向上を図るとなっている。現在、年間利用者も4万5000人を超え、町の高齢者福祉の重要な役割を果たしている。温泉を掘削して観光事業に利用すべきとお尋ねだが、本来利用している高齢者の方々の使用に大きな支障が出てくるのではないかと思う。500メートル、1000メートル掘ったとしても現実

ククラゲの貴重な自然は、町民の宝である。頭から赤い水だからだめ、寿荘はお年寄りの施設だからだめではなく、10年後、20年後の若い人たちが、東京から1時間半で来て自然に親しみながらお金を使ってくれることで、若い人たちにパワーが出てくる。5000万



温泉掘削が行われた松本公園

一般質問



松村 潤
議員

学校のトイレ整備 について

3つ目は、我慢してしま
うこともあると思うので、
お腹が痛くなったら保健
室へ行って対応したり、
学級活動で取り上げたり
しながら指導している。

ての学校の体育館は大変
重要だ。トイレの洋式化
率がまだ十分でないとい
うことであるが、体育館
だけの改修ではなく、校
舎トイレの改修計画も含
めて計画的に行っていく。

問

群馬県教育委員会の調査では、公立小中学校のトイレ洋式化の割合は平均46%である。本町の各小中学校におけるトイレの洋式化率は。

答

学校教育課長 中野小学校は58%。高島小学校は25%。長柄小学校は50%。中野東小学校は33%。邑楽中学校は55%。邑楽南中学校は27%。全体の洋式化率は43%である。

問

現在の洋式化率では、家庭での生活環境と大きくかけ離れている。多くの児童生徒の家庭では洋式トイレが主流であり、和式トイレに対して苦手意識もある。児童生

徒が一日の大半を過ごし、一年を通じて使用する学校のトイレ洋式化を、子どもたちのために積極的に推進すべきと考えるが。

答

学校教育課長 洋式化率の低い学校では、トイレそのものも老朽化しており、修繕が必要な時期となっている。今後、トイレ設備の改修を計画的に実施していく。

問

学校のトイレは、汚い・臭い・怖い・暗い・壊れている、との5Kと呼ばれるトイレが多数を占めている。5Kのため子どもたちが学校にいる間は、トイレに行くのを我慢する傾向があり、我慢のストレスでお腹をこ

わしたり、授業に集中できなかつたり、便秘になつたりと、心身にさまざまな不調が出る場合があるとされている。排せつは「汚い」「恥ずかしいもの」というネガティブなイメージがあるが、食事と同様に「大切な行為」であると思うが、どのような指導をしているのか。

答

教育長 学校では3点について指導している。1つは、保健体育の授業等で体の仕組みや営みを学習し、排せつは人間にとって大切なことで、恥ずかしいことではない。2つ目は、人の嫌がることを言ったり、やったりしてはいけない。

問

学校のトイレは、子どもたちだけの問題ではない。学校は地域コミュニティの拠点であり、大規模災害時には避難所となるなど、老若男女を問わず、多くの住民が利用する。やはりトイレは衛生面から洋式化し、快適な環境にしなれば、足腰の弱い高齢者や障害者が利用する際に支障をきたすのではないか。いつ起こるかかわからない災害に対し、早急に手を打っていただきたい。

計画的に行う

答

町長 学校施設は全て町の避難所に指定されている。避難所とし



その他の一般質問 ・がん対策について

【訂正とお詫び】
議会だより150号の一般質問で「ヘッドホンやイヤホンの着用は危険運転」と記載しましたが、使用そのものは危険運転ではありませんでした。訂正してお詫びいたします。



塩井 早苗
議員

高齢者虐待の予防について

としている。

問 家庭内の虐待の内訳をみると、息子が

41・6%、夫が18・3%、娘が16・1%、そのほか親族等である。虐待の種類は。

答 健康福祉課長 「身体的な虐待」、これは

は養護者によって暴力的な行為を受けて、身体に傷やあざ、痛みを与える行為。それから外部との接触を意図的、継続的に遮断する行為が身体的虐待と規定されている。2つ目として「心理的虐待」、これはおどし、侮辱などの言葉や態度、無視、嫌がらせ等によって精神的に苦痛を与える。3つ目

た。在宅関係の高齢者虐待の通報件数では群馬県で平成27年度が236件、邑楽町においては5件通報があった。

問 虐待が起きないために、発生要因をしっかりと考えなくてはいけない。そこで、虐待の発生にはどんなことが考えられるか。

答 健康福祉課長 希薄な近隣関係、介護者の

社会からの孤立、最近大分増えている老老介護、単身介護の増加、介護者のニーズに合わない介護施策等、これらによる社会環境、よく相談にある介護疲れ、生活苦、介護ストレス、知識不足、高齢者の認知症による言動の混乱、身体自立度の低さなどがある。

問 今後、町のあるべき支援体制は。

答 健康福祉課長 平成27年度、群馬県では13件報告があった。邑楽町においてはゼロであった。

問 重い課題であるが高齢者虐待についてお聞きしたい。高齢者が増えていく今、全国では1万5000件もの悲しい事件が後を絶たないということから、避けておろることができないと考える。まず、虐待の定義について。

答 健康福祉課長 正式名称が「高齢者虐待

の防止、高齢者の養護者に対する支援に関する法律」で、平成18年4月に施行された。国と地方団体、国民の責務、被虐待高齢者の保護措置・養護者への相談・指導・助言などの支援措置を定めるもので、これらの施策の促進、権利擁護等を目的

ネットワーキングが大切

答 町長 関係機関や民間団体との協力体制

をとるネットワーキングが大切である。地域ケア会議等専門的に協議をし、対応策も考え支援を十分なものにしていく。

その他の一般質問

・地域包括ケアシステムについて



高齢者を支える年金



休憩室 The Lounge

一番いい季節に



井上 喜美江
(大谷端宿赤東・31区)

今年も異常な気象で幕を開けた。厳しい寒波、近年にない大雪、彼岸を過ぎてからの戻り寒波等波乱に満ちた異常気象での幕開けであった。
しかし、自然は厳しいものではないが確実に季節は巡ってくる。葉桜は青々と輝き、すべての木々は命を謳歌するかのように四方に伸びようとしている。
まさに一番いい季節である。森羅万象が命の輝きに満ち大地のエネルギーを感じられる。
この時期は、邑楽町の自然の良さはどこに行っても感じられる。邑楽町に生まれ「良かった」と思える季節でもある。
日々の生活を少し振り返って表に出て一番いい季節を感じてみませんか。きっと邑楽の大地のすばらしさを感じられるはずです。

邑楽町に来て



せい 清 一実
(藤川・16区)

自分は、邑楽町に来て10年が経ちました。
最初は、周りに知っている人もいなく不安もありましたが、いろいろな方に出会うことができました。
最初のきっかけは、夜、近くの小学校の体育館に子どもを連れて散歩に行つたとき、地元ソフトボールチームの方が体力作りでバドミントンをしていました。
自分も学生のときにやっていたので、「またやりたいな」と思い何度か見に行っていたら「一緒にやらない？」って声を掛けられ、それをきっかけに参加するようになりました。
今では、チームに加入し、ソフトボールを中心にバドミントン、バレーボールと練習に参加しています。
また、町のバドミントン大会に参加させてもらったのをきっかけに、地元チームの方と出会うことができました。皆さん快く迎えてくれて、邑楽町に住んで本当に良かったです。

議会のうごき

2月

- 9日 全員協議会、中央公民館建設特別委員会
- 15日 邑楽館林地域施策推進協議会
- 17日 邑楽郡町村議会議長会議員研修会
- 21日 群馬県町村議会議長会定期総会
- 22日 議会運営委員会
- 23日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会
- 24日 全員協議会

3月

- 7日～17日 定例会
(本会議、議会運営委員会、全員協議会、各常任委員会、中央公民館建設特別委員会、広報委員会)
- 13日 中学校卒業式
- 21日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 22日 幼稚園修了式
- 23日 小学校卒業式、大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 24日 邑楽郡町村議会議長会総会
- 25日 保育園卒園式
- 27日 邑楽館林医療事務組合議会、館林地区消防組合議会

4月

- 4日 広報委員会編集会議
- 7日 小・中学校入学式
- 14日 広報委員会校正会議
- 18日 全員協議会、中央公民館建設特別委員会

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は
6月12日から16日を
予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は13日、14日を予定)

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>

詳しくは、議会事務局まで **88-5511 (内線300)**

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したものは、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができますので、ご覧ください。

埼玉県秩父郡横瀬町



森戸 久子
(鷲上・12区)

私の故郷は、埼玉県秩父郡横瀬町です。

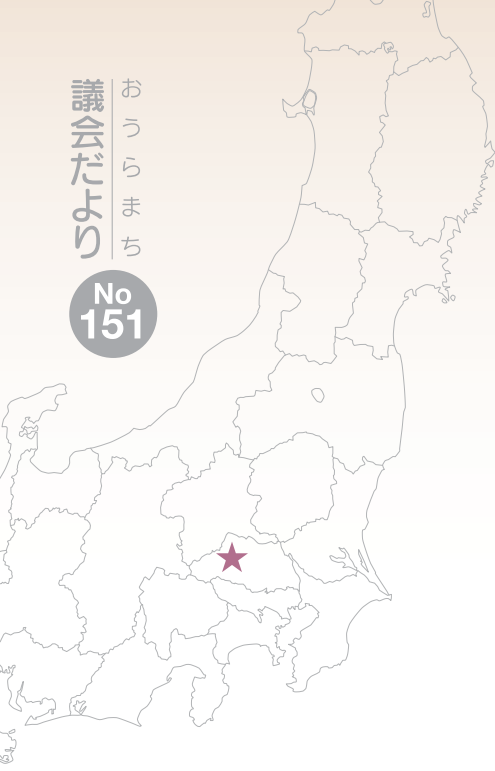
埼玉県の北西部に位置し、人口8360人の山に囲まれた山間地です。

私は、日本二百名山の一つに数えられ、現在も石灰岩を採掘している武甲山を目の前に眺望できる日向山(標高633メートル)の南斜面に点在する芦ヶ久保果樹公園の自然豊かな山間地で育ちました。

私の家でもプラムとぶどう園をやっていました。一時は観光農園として人手を借りるほどの忙しい時期もありましたが、両親の高齢化により10年前に廃園しました。

今でも毎週、横瀬町の実家に帰っていますが、武甲山を目の前に眺望できる自然豊かで空気のきれいな横瀬町が私は大好きです。それから、秩父地方では、ユネスコ無形文化遺産に登録された夜祭として知られ

ている「日本三大曳山祭り」、羊山の芝桜、長瀨の天然氷のかき氷、ライン下り、秩父路の山間を走るSL、34カ所の札所めぐりなど、一年を通して多くの観光名所があるところです。皆さんもこのような秩父地方に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



おうらまち

議会だより No.151



芝桜の丘と武甲山

長い間、大変お世話になりました。

議会広報委員会



黒田 原 塩井 松島 瀬山 大賀

(松島記)

編集後記

議会改選から、半期二年が経過しようとしております。

広報委員会では、議会改革の一端を担う立場から、新たな情報提供手段の取り組みを行ってきました。

前号からは、さらに多くの皆さまに愛読していただくため、表紙の写真を公募させていただいております。

町内に在住または在勤の方でしたらどなたでも応募できますので、ご協力いただければ幸いに存じます。

「議会だより」は、町民の皆さまと議会をつなぐ大切なライフラインと言っても過言ではありません。

ひいては、表紙写真だけではなく、レイアウトやコーナータイトルなどに対しても、忌憚のないご意見、ご要望を賜りますようお願いいたします。